様式第20号(第38条，第38条の2関係)

緊急離着陸場等設置(変更・廃止)届出書

|  |
| --- |
| 年　　月　　日　神戸市消防長宛届出者　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　住所　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話(　　　―　　　―　　　)　氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |
| 建築物の名称 | 　 |
| 所在地 | 　 |
| 設計者所在地・名称 | 　 |
| 施工者所在地・名称 | 　 |
| 建築物の構造・規模等 | 構造 | 　 | 用途 | 　 |
| 建築面積 | m2 | 延べ面積 | m2 |
| 階数 | PH　　　階地上　　　階地下　　　階 | 最高高さ床面高さ軒高 | mm(標高　　m)m |
| 離着陸帯の広さ | m×　　　m | 　着陸帯の広さ | m×　　　m |
| 全装備重量最大許容荷重 | tt | 種別 | 1ヘリポート2緊急離着陸場3緊急救助用スペース |
| 消防用設備等(主なもの) | 　 |
| その他 | 1　屋外部分に直通する階段の形態及び数等(　　　　　　　　)2　屋上部分の非常用EV着床の有無(　　　　　　　　　　　　)3　屋上部分の扉の解錠方法(　　　　　　　　　　　　　　　) |
| ※　受付 | ※　備考 |
| 　 | 　 |

※裏面をよく読んで記入してください。

記入方法

1　「届出者」が法人，団体等である場合は，その名称，代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

2　「最高高さ」及び「軒高」については，それぞれ建築基準法施行令第2条第1項第6号及び第7号に規定された高さを記入すること。

　また，「床面高さ」については，地盤面から屋上緊急離着陸場等の床面までの高さを記入し，(　　)内には，屋上緊急離着陸場等の床面の標高高さを記入すること。

3　屋上ヘリポート及び屋上緊急離着陸場については，着陸帯と離着陸帯の大きさを区別して記入すること。又，緊急救助用スペースについては，その広さを「離着陸帯の広さ」欄に記入すること。

4　「全装備重量・最大許容荷重」欄については，屋上緊急離着陸場及び屋上ヘリポートについてのみ記入すること。なお，最大許容荷重には，使用予定機種の全備重量×2.25倍又は3.25倍の荷重を記入すること。

5　「種別」欄については，該当する番号に○印を記入すること。

6　「消防用設備等」欄については，屋上緊急離着陸場等(屋上部分を含む。)に設置されている消防用設備等について記入すること。

7　「その他」欄については，例示している内容の他，特記事項があれば記入すること。

8　上記の他，関係図書として，次に掲げる資料を添付すること。

　(1)　屋上緊急離着陸場等の位置，構造，設備等の詳細図

　(2)　周囲の障害物の有無とその状況図

　(3)　床面強度計算書

　(4)　燃料流出防止施設詳細

　(5)　脱落転落防止装置詳細

　(6)　消防設備等(詳細については別途届け出済の着工届により代えることができる。)

　(7)　照明等

　　ア　飛行場燈台

　　イ　着陸区域境界燈

　　ウ　航空障害燈

　　エ　その他，これに類する照明

9　※印欄は記入しないこと。